

はじめての

家づくり



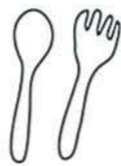
r e c i p e

ABC
HOUSING

はじめての家の作り方

モデルホーム
見学の
ポイント満載!

フレッシュな家づくりレシピ、召しあがれ。
憧れのマイホーム実現にむけてABCハウジングへ。とはいえはじめてのこと、なにから手をつければいいのか...そんなふうにお困りの方も多
いはず。もっと、肩の力を抜いて。そう、家づくりの要領はふだんの料理
づくりとおなじなのです。ご家族の好みが見つかる、住まいの
新鮮なアイデアが詰まった「家づくりレシピ」。理想の家づくりに、
どうぞお試しあれ。



はじめての
家づくり

recipe

recipe 1

LOHASな家
ロハス

の作り方 → P.03



recipe 3

趣味にこだわる家

の作り方 → P.07



recipe 4

ユニバーサルデザインの家

の作り方 → P.09

recipe 2

ペットと暮らす家

の作り方 → P.05



recipe 5

理想の家

の作り方 → P.11



LOHASな家 の作り方

ロハス



3

光と風をたっぷり吸って、すこやかな毎日を過ごす。庭で育てたグリーンを料理して、ガーデンパーティに興じる。自然と共生し、自然エネルギーを上手に採り入れる。そんな生活を包んでくれる住まいに、「ロハス」は今や欠かせないテーマ。じぶんや家族と地球の健康を志向するロハスな家づくり、いっしょにはじめませんか。



※「LOHAS(ロハス)」とは「Lifestyles Of Health And Sustainability」の略で、健康と持続可能性を重視したライフスタイルのこと。そうしたライフスタイルにふさわしい商品やサービスを選択する「ロハスピーブル」の輪は年々広がっています。



光と風を呼吸する家

*材料……光・風・広開口・24時間換気システム

作り方

- 1 明るく風通しのいい空間づくりは、敷地の特性を生かすことから、日当たりや風向きを考えて、家族が集うスペースを効果的に配置。開口部を広く設け窓の位置を工夫する。
- 2 常に新鮮な空気を味わうために、住まい全体の換気システムを確認しよう。空間やライフスタイルに応じて、常時換気可能なシステムを選ぶ。
- 3 太陽の光で発電する太陽光発電システムなど、自然エネルギーを上手に活用すれば、エコロジー&エコノミーな住まいのできあがり。



グリーンがごちそうの家

*材料……緑・庭・ウッドデッキ

作り方

- 1 敷地の使い方を練ることが、庭と緑を満喫する住まいづくりの第一歩。中からの眺めと外からの眺めを同時に想定しながら、建物と調和した庭の配置と植栽を計画する。
- 2 中庭や坪庭を配して、自然の潤いをより身近に採り入れよう。スペースや動線、手入れのしやすさなどを考慮しながら、お好みの樹木を選ぶ。
- 3 ガーデニング派・アウトドア派のご家族には、広い庭やウッドデッキがおすすめ。庭で育てた野菜やハーブを調理して、青空の下でいただきます。



4



自然素材を味わう家

*材料……お好みの自然素材

作り方

- 1 毎日もっとも接する床は、肌ざわりがいい素材を選びたいもの。年月の経過とともに色味や風合いが変化する、無垢材の味わいは格別。
- 2 視覚に訴える壁。ナチュラルな表情を味わうなら塗り壁、珪藻土なら加えて調湿性や脱臭性も、重厚な雰囲気味わうなら、石貼りの壁がおすすめ。
- 3 使用されている建材が、シックハウス症候群の原因物質の一つであるホルムアルデヒドの使用制限をクリアしているか、チェックしておこう。



※アイデアnoteは、ほんの一例です。

ペットと暮らす家の作り方

ペットも家族の一員だから、みんなと同じように、心地よく過ごせる居場所を用意してあげたい。そんなご家族の夢をかなえられるのは、まさに戸建ての住まいならではの醍醐味。遊ぶ、休む、洗う、眠る…ペットと暮らす、思い思いの生活スタイルをあたまたに浮かべながら、快適な家づくりに取り組みましょう。



5



アイデア
note

ペットとのびのびつき合う家

*材料……くくり戸付きドア・ルーフガーデン

作り方

- 1 ペットの犬や猫とのびのびつき合いたいご家族には、ペットが家のなかをどこでも自由に入出できるフリースタイルがおすすめ。
- 2 ペットが部屋から部屋へと自由に移動できるよう、くくり戸付きのドアを選ぶ。開口部の大きさや素材、ロック機能などの仕様を確認しよう。
- 3 開放感あふれるルーフガーデンを用意すれば、家族もペットも、いっしょに遊びまわったり休んだりできて満足。

アイデア
note

ペットも人も快適な家

*材料……水まわり設備・換気・遮音材・防音材

作り方

- 1 玄関やコートのそばに水まわり設備を隣接しておけば、散歩から帰ってきたり庭で走りまわった後、すぐに洗えて室内の快適さを保てる。
- 2 毛が抜けやすい犬や猫と暮らすなら、機械換気だけでなく、2時間おきに窓を開けて室内の空気を入れ替えるのが望ましい。
- 3 鳴き声大きいペットとの生活は、近隣に配慮して、床や壁、天井に遮音性や防音性を備えた建材をあらかじめ選んでおきたいもの。



6



アイデア
note

お掃除がしやすい家

*材料……消臭系クロス壁や調湿系土壁・タイル・収納

作り方

- 1 ふだん気がつきにくいのが、空気中の汚れ、消臭系のクロス壁や調湿系の土壁なら、空気の中の臭いや汚れを吸収してくれる。
- 2 汚れがちな床、また床材の目地は汚れがたまりやすい場所。目地が少ないタイルだと掃除がラク、リフォームのしやすさも念頭に。
- 3 ペット用品が散らからないよう動線に応じて収納を用意。フードはダイニングに、散歩の道具は玄関に、遊び道具はハウスに収納すれば片付けが簡単。



趣味にこだわる家のつくり方



いつもは仕事で出かけて家にいる時間が少ないからこそ、愛おしいコレクションをいつまでも眺めていたい。ふだん家のなかで過ごす時間が多いからこそ、お菓子づくりを極めてみたい。パパと、ママといっしょに、たっぷり遊びたい。空間を自由に発想できる戸建ての住まいだからこそ実現できる、こだわりがあります。



愛車を愛でる家

*材料……車・ビルトインガレージ

つくり方

- 1 愛車をいつでも眺めていたいというご主人には、ビルトインガレージがおすすめ。建物と一体化した駐車スペースをプランしよう。
- 2 ガレージのそばにリビングやダイニングを配置する。間仕切りの開口部を大きく、ガレージと室内の内装に統一感をもたせるなどの工夫を。
- 3 さらに駐車スペースを吹き抜け空間にすれば開放感たっぷり、2階からも車を眺めることができる「愛車を愛でる家」が完成。



ホームシアターのある家

*材料……スクリーンかテレビ・ソファ・間接照明

つくり方

- 1 リビングなどの部屋を設定して、必要な機器を揃える。ソファでごろ寝しながら鑑賞できるのは、ホームシアターならではの贅沢。
- 2 余分な反射音を吸収するには、ラグやカーテンが効果的。本格的なシアターを開館するなら、防音をあらかじめプランに織り込んでおこう。
- 3 映画館のムードを演出するポイントは、照明。カーテンで遮光したら部屋の明かりを落として、柔らかい光を画面のうしろから間接的に照らすといい。



クッキングを堪能する家

*材料……広いキッチン・収納

つくり方

- 1 家族とのコミュニケーションを大事にしたい奥様にはオープン型、ごちゃごちゃとした様子を見せたくない奥様にはクローズド型がおすすめ。
- 2 スペースの広さや調理機器の大きさ、また家事動線を考えながら、レイアウトを計画する。コンセント位置の確認も忘れてお忘れなく。
- 3 “取り出しやすくしましやすい”が収納のコツ。また“隠す収納”と“魅せる収納”の使い分けを考えて、カップボードなどを活用すべし。



ユニバーサルデザインの家の作り方



将来、どんな暮らしをしているのだろうか？“だれもが使いやすい”をめざす「ユニバーサルデザイン」。ずっと住み続ける住まいのユニバーサルデザインは、家族のライフスタイルの変化を見据えて。家族全員が気持ちよく過ごせることはもちろん、子供や高齢者の視線を大切に、空間や設備を考えたいものです。

9



※「ユニバーサルデザイン (Universal Design)」とは、文化や言語の違い、年齢や性別差、能力・障害を超えて、すべての人が使いやすいよう施設や乗り物、製品、情報などを工夫すること。今、住宅分野をはじめ幅広い分野で注目が高まっています。



家族全員が生活しやすい家

*材料……少ない段差・エレベーター・大きな把手・シャワー水栓

作り方

- 1 段差はなるべくなくそう。またホームエレベーターを取り入れれば、高齢の方の昇り降りはもちろん、家族全員にとって、洗濯物や荷物を抱えての上下の移動にとっても便利。
- 2 収納など扉の把手は、子供の手が届きやすいよう大きく、また家族みんなが握りやすく開けやすいようデザインされたものを選ぶ。
- 3 キッチンや洗面所には、伸縮式のシャワー水栓がおすすめ。お母さんのお料理時、子供の手洗いや高齢の方のシャワー時に、手前に引き出して使いやすい。



高齢者が暮らしやすい家

*材料……手すり・ドアや通路の幅・部分照明

作り方

- 1 階段や通路はもちろん、トイレやバスにも手すりを設置する。後からでも取り付けられるよう、下地の強度を十分に確保しておくのを忘れなく。
- 2 車イスや歩行器を使用してもゆったりと通れるよう、玄関ドアや扉、通路、水まわり周辺に幅を設ける。ドアは引き戸のほうが出入りしやすい。
- 3 夜中の行き来は、センサー付き足元灯などで明るさをしっかりと確保しよう。階段や段差はコントラストの強い配色で認識しやすくなる。



10



子供が過ごしやすい家

*材料……角やドアへの配慮・ロック

作り方

- 1 よく転んだり、頭をぶつけたりする幼い子供にとって、建具や家具の角は危険。子供の視線の高さで、カバーを取り付けるなどの対策を。
- 2 突然の開閉で体をぶつけることがある開き戸。指や体をつめることがある引き戸。こうした観点からプレーキなどが備わったドアを選ぶ。
- 3 バルコニーや浴槽など、子供には危険なスペースのドアのロックが高い位置に取り付けられているか、目配りしておきたいもの。



※アイデアnoteは、ほんの一例です。



理想の家 のつくり方 ~モデルホームを活用しよう~



玄関はどうする?和室はどうする?ベッドルームはどうする?家づくりには、まだまだ考えなくてはいけないことがいっぱい...そんな方はモデルホームを積極的にご活用ください。住宅メーカーの提案が盛り込まれたモデルホームは、アイデアの宝庫。ご家族の理想にこたえる、家づくりのアイデアが見つかるはずです。



アイデア note

玄関

- 1 玄関ホールにゆったりとした広さや天井の高さがあるか、また光を適度に採り込めているか、体感してみよう。
- 2 靴や傘、道具などの収納スペースが十分に確保されているか、収める物を具体的に思い浮かべながら見学しよう。
- 3 玄関ドアの施錠システムや監視カメラ、照明などの防犯設備について、各住宅メーカーの営業マンに確認しておこう。



アイデア note

和室

- 1 客間としてなら、玄関の側など気兼ねせず使える位置。茶の間としてなら、リビングの側などくつろげる位置がおすすめ。
- 2 洋風のリビングにつながる和室も、スキップフロアにすれば違和感なく、変化に富んだ空間をつくることができる。
- 3 格式のあるしつらいを重んじるか、和モダンの軽やかな味わいを楽しむか、家族のスタイルにふさわしいテイストを選ぼう。



アイデア note

ベッドルーム

- 1 寝室のカギは、光。たっぷり採り入れた朝の自然光を、ゆったりくつろげる夜の照明を、モデルホームで想像してみよう。
- 2 空間の広がり感と、十分な収納スペースを両立した設計になっているか、洋服や荷物を思い浮かべながら見学しよう。
- 3 読書に興じる、お化粧をする、夫婦がじぶんの時間を過ごせるよう、プライベートスペースをプラスしてみてもいいかな?



アイデアnoteは、ほんの一例です。ご家族の理想にふさわしい家づくりのアイデアを、モデルホームで見つけてください。

はじめての
家づくり
recipe

住まいづくりの
成功の秘訣は
「基本」にあります。

基本

A B C

住まいのテーマを磨く

ご家族にとって理想の家づくりレシピは見つかりましたでしょうか。それでは具体的なプランに進むまえに、知っておきたいことがあります。家づくりを成功に導くための「基本ABC」、まずはテーマを磨くことから。



13

家族でじっくりと話し合い、希望をまとめる。



テーマを磨く

01

家族にそれぞれ好き嫌いがあるのは、お料理も住まいもおなじ。マイホームづくりを決めたら、住みたい理想の家について、まずは家族みんなでじっくりと話し合うことから始めましょう。現在の家に感じている不便をひろい出すもよし。将来の家に抱いている夢を語るもよし。収納スペースが少ない、開放的な間取りがいい…とび出した意見をノートに書き留めておくこともお忘れなく。話し合いをかさねるうちに、家族の思いが凝縮された、共通のテーマがそこから浮かび上がってくるはずですよ。

雑誌や広告、モデルホームで情報を収集する。



テーマを磨く

02

マイホームづくりに必要な情報は、いろいろな方法で収集することができます。たとえば新聞広告やチラシは、ひとりでに手元に届く、新鮮なネタの宝庫です。気に入った住まいの写真や間取図があれば、スクラップしてみてもいいかもしれません。建物や設備、立地や価格にたいする知識がしだいに磨かれてくるはずですよ。住みたい家のテーマを頭のなかで整理すると同時に、ABCハウジングを訪ねましょう。各住宅メーカーのモデルホームを実際に体感してみる、これぞ家づくり成功の秘訣なのです。

14

家づくりの優先順位と予算配分を考える。



テーマを磨く

03

実際の家づくりに欠かすことができないのが、資金計画。費用をどれだけ用意できるのか、情報収集と並行して自己資金や親からの援助、住宅ローンの種類などを確認しましょう。また家づくりを具体的に進めていくうえで、「どれくらいかかるのか」から「どこにどれだけかけるのか」へ、発想の転換が望まれます。優先したいスペースと、削ってもいいスペース。資金が見えてきたら、家づくりの優先順位を設定することで、空間と予算のプランが立てやすくなります。

住まう土地をイメージする

家族共通のテーマが決定したら、足元をしっかりと固めていきましょう。
理想の家にふさわしい理想の土地とめぐり会い、
敷地のよさを十分に引き出すこと。これが家づくり成功の秘訣です。



建てる前に、 敷地の中身を チェックする。



イメージをする

01

仕込みに手間暇をかけるほど、満足のいく仕上がりを期待できるのが、家づくり。大きな買い物なのだから、納得がいくまで、たくさんの土地を見てまわることをおすすめします。その際チェックしたいのが、敷地の性質。たとえば地盤が柔らかいと、家の基礎全体が沈んでしまうおそれがあります。また敷地には、建てられる家の大きさや高さをはじめクリアしなければならない、さまざまな法的規制も。実際に家を建てるにあたっては、事前に専門家の綿密な敷地調査・地盤調査が必要です。

敷地のよさを 生かして プランする。



イメージをする

02

いい土地を見つけたら、その長所を最大限に生かしたプランを考えることが、家づくりを成功に導くための秘訣です。建てたい家のイメージを、実際の敷地の上にかさねてみてください。イメージにくらべ敷地が狭く小さかったり、規制の条件に合わない部分があるのではないのでしょうか。そんなときは、あらためて家族会議。部屋の広さを変更しよう、ここを工夫すればもっと面白くなりそう。話し合ううちに、家族がめざす住まいのプランが、はっきりとした輪郭をもち始めることでしょう。

家族みんなで 周辺環境を 観察する。



イメージをする

03

土地を選ぶ際は、周辺環境のチェックもお見逃しなく。たとえば敷地の場所や時間帯によって、日当たりや風向きが変化する場合があります。隣家との関係で制限が生じたり、配慮が求められるかもしれません。また、スーパーや病院、交通機関は利用しやすいか？学校が近くにあるか、行き帰りの通学路は安全か？人通りや交通量、音は気にならないか？朝昼晩や平日、休日による印象の違いは？…家族で何度も足を運び、それぞれの目線で、そこでの生活をイメージしてみましょう。

住まいづくりのプロセスを踏まえる

さあこれで家づくりのスタートラインに立つことができました。
家族みんなで、必要なプロセスを一步一步、
着実に踏まえてはじめての家づくりを成功に導きましょう。



検討期

- 1 イメージづくり**
 - 家族共通のテーマを決めます。
 - 家族の希望をまとめます。
 - 敷地の条件を調べます。
- 2 情報収集 ~ABCハウジングでモデルホーム見学~**
 - たくさんのモデルホームをまわって、構造や工法、外観、間取りやインテリアなどを体感します。
 - 新聞広告やチラシ、雑誌で情報を集めます。
 - 家族共通のイメージを固めます。
- 3 資金計画**
 - 自己資金と借りられる額を確認します。
- 4 住宅メーカー選び**
 - 家族で話し合い、候補を数社に絞ります。
- 5 概算見積り**
 - 各住宅メーカーに予算と希望を伝え、基本設計と概算見積りを依頼。比較検討します。

着工準備期

- 6 住宅メーカー決定**
 - 仮契約を結びます。
 - プランと見積りの修正を依頼します。
 - 納得がいくまで中身を検討します。
- 7 本設計・本見積り**
 - 本設計・本見積りを依頼します。
 - 間取りや設備などの細部を確認します。
 - プランを最終チェックします。
- 8 契約**
 - プランの詳細と価格が決定すれば、正式に工事請負契約を結びます。



工事期

- 9 着工**
 - 工事の内容に応じて現場に立ち会います。
 - 希望により地鎮祭を行います。
- 10 上棟**
 - 工事の内容に応じて現場に立ち会います。
 - 希望により上棟式を行います。



竣工期

- 11 竣工**
 - 工事がすべて完了しました。
- 12 施主検査**
 - 住んだつもりで念入りにチェックします。
- 13 引き渡し**
 - 指摘した直しの箇所をチェックします。
 - 鍵や関連書類を受け取ります。
- 14 入居**
 - 完成した家で夢の家族生活がはじまります。

